



平成29年6月22日  
総合政策局国際政策課  
(グローバル戦略)

## マダガスカル及びモーリシャスにおいて日本の「質の高いインフラ」を紹介しました ～「質の高いインフラワークショップ」の開催結果について～

国土交通省は、本年7月に開催される「日・マダガスカル官民インフラ会議」の開催等に向けて、マダガスカル共和国（6月13日）及びモーリシャス共和国（6月14日）において、相手国政府と共催で「質の高いインフラワークショップ」を開催しました。

我が国が提唱する「質の高いインフラ投資」への理解を促進するとともに、我が国インフラ関連企業の技術や経験等を紹介しました。

### 1. 日・マダガスカル質の高いインフラワークショップ（詳細は別紙1の通り）

- (1) 日程：平成29年6月13日(火)
- (2) 場所：マダガスカル共和国 アンタナナリボ市内 経済・計画省
- (3) 主催：日本国 国土交通省  
マダガスカル共和国 大統領府付大統領プロジェクト・国土整備・設備担当省(M2PATE)
- (4) 参加者：約120人(日本側約40人、マダガスカル側約80人)  
(日本側) 国土交通省(総合政策局石垣国際建設産業企画官、港湾局西村国際企画室室長)、在マダガスカル大使館(小笠原大使)、JICA、日本企業16社(建設、メーカー、商社等)等  
(マダガスカル側) M2PATE(ラミアラマナナ・ジョゼフ総括調整官(次官級))、公共事業省(ミリィ・ピエール事務次官、ラフィリング・エリック・アリウス総局長)、運輸・気象省(ラジョエリソン・アンドリアナリィ・ラド事務次官)、水利・エネルギー・炭化水素省(ラジャオナリヴェロ・ローラン事務次官)、トアマシナ港湾公社(SPAT)(ラナリヴォジャオナ・サミュエル港湾整備・開発局長)、マダガスカル空港公社(ADEMA)(アンドリアミアフィ・ヘリソン総裁)、マダガスカル民間航空局(ACM)(アンドリアナリソア・ジェームス総裁)、一般貨物荷役公社(SMMC)(ジェーン・ベルタン総裁)、現地企業(建設、銀行等)等

### 2. 日・モーリシャス質の高いインフラワークショップ（詳細は別紙2の通り）

- (1) 日程：平成29年6月14日(水)
- (2) 場所：モーリシャス共和国 ポートルイス市内 投資庁
- (3) 主催：日本国 国土交通省  
モーリシャス共和国 公共インフラ・陸運省
- (4) 参加者：約60人(日本側約30人、マダガスカル側約30人)  
(日本側) 国土交通省(総合政策局国際政策課 石垣国際建設産業企画官他)、在モーリシャス日本国大使館(胡摩窪参事官)、日本企業11社(建設、メーカー、商社等)等  
(モーリシャス側) 公共インフラ・陸運省(シモネ次官)、投資庁(ケン・ポーノーサミー マネージング・ダイレクター)、現地企業(建設、銀行等)等

#### <問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 国際政策課 (グローバル戦略) 大澤、星川

TEL 03-5253-8111 (内線 25205、25216)、03-5253-8314 (直通)、 FAX 03-5253-1562

**1. 「日・マダガスカル質の高いインフラワークショップ」**

- (1) 日 程 : 平成29年6月13日(火)
- (2) 場 所 : マダガスカル共和国 アンタナナリボ市内 経済・計画省
- (3) 主 催 : 日本国 国土交通省  
マダガスカル共和国 大統領府付大統領プロジェクト・国土整備・設備担当省(M2PATE)
- (4) 参加者 : 約120人(日本側約40人、マダガスカル側約80人)  
(日本側) 国土交通省 総合政策局国際政策課 石垣国際建設産業企画官  
港湾局産業港湾課 西村国際企画室室長他、  
在マダガスカル日本国大使館 小笠原大使  
JICA、日本企業16社(建設、メーカー、商社等) 等  
(マダガスカル側)  
M2PATE ラミアラマナナ・ジョゼフ 大統領プロジェクト・フォロー・アップ総括調整官(次官級)  
公共事業省 ミリィ・ピエール事務次官  
公共事業省 ラフィリング・エリック・アリウス総局長  
運輸・気象省 ラジョエリソン・アンドリアナリィ・ラド事務次官  
水利・エネルギー・炭化水素省 ラジャオナリヴェロ・ローラン事務次官  
トアマシナ港湾公社(SPAT) ラナリヴォジャオナ・サミュエル港湾整備・開発局長  
マダガスカル空港公社(ADEMA) アンドリアミアフィ・ヘリソン総裁  
マダガスカル民間航空局(ACM) アンドリアナリソア・ジェームス総裁  
一般貨物荷役公社(SMMC) ジェーン・ベルタン総裁、現地企業(建設、銀行等) 等
- (5) 概 要 : 会議冒頭、小笠原大使より、本年7月の「日・マダガスカル官民インフラ会議」開催に至る経緯が紹介されました。続いて、マダガスカル共和国 M2PATEラミアラマナナ総括調整官より、日本のインフラ分野の協力への期待が表明されるとともに、国土交通省から「質の高いインフラ投資」推進のための我が国の政策や国土交通省の取組、日本の質の高い港湾整備政策の概略を説明しました。我が国インフラ関連企業からは、「質の高いインフラ」の事例や関連技術等を紹介しました。  
マダガスカル側からは、M2PATEより各種国家プロジェクトについて、公共事業省より道路プロジェクトについて、運輸・気象省より運輸整備計画について、水利・エネルギー・炭化水素省より電力整備計画について、トアマシナ港湾公社よりトアマシナ港湾整備計画の概要やインフラニーズ等について、発表が行われました。  
また、本年7月に開催される「日・マダガスカル官民インフラ会議」に向けて、プログラムの詳細や官民インフラ会議後の取組について話し合いました。

(ワークショップの様子①)



(ワークショップの様子②)



(在マダガスカル日本国大使館 小笠原大使)



(国土交通省総合政策局 石垣企画官)



(M2PATEセラフィン局長)



(国土交通省港湾局 西村室長)



## 2. 「日・モーリシャス質の高いインフラワークショップ」

- (1) 日 程 : 平成29年6月14日(水)
- (2) 場 所 : モーリシャス共和国 ポートルイス市内 投資庁(Board of Investment)
- (3) 主 催 : 日本国 国土交通省  
モーリシャス共和国 公共インフラ・陸運省
- (4) 参加者 : 約60人(日本側約30人、マダガスカル側約30人)  
(日本側) 国土交通省 総合政策局国際政策課 石垣国際建設産業企画官他、  
在モーリシャス日本国大使館 胡摩窪参事官、日本企業11社(建設、メーカー、商社等) 等  
(モーリシャス側) 公共インフラ・陸運省 シモネ次官、投資庁 ケン・ポーノーサミー マネージング・ダイレクター他、現地企業(建設、銀行等)等
- (5) 概 要 : 会議冒頭、モーリシャス共和国 投資庁 ケン・ポーノーサミー マネージング・ダイレクターより、日本のインフラ分野の協力への期待が表明されました。続いて、国土交通省より我が国の「質の高いインフラの投資」の取組を、我が国インフラ関連企業より「質の高いインフラ」の事例やインフラ関連技術等を紹介しました。  
モーリシャス側からは、公共インフラ・陸運省より道路・港湾などのインフラニーズを、投資庁よりアフリカにおける投資環境等の発表が行われました。  
また、ワークショップ開催に併せて、ボダ公共インフラ・陸運大臣及びラチュミアイドゥ外務・地域統合・国際貿易大臣を表敬訪問し、我が国の「質の高いインフラの投資」の取組を説明しました。

(ワークショップの様子①)



(ワークショップの様子②)



(ボダ公共インフラ・陸運大臣表敬)



(ラチュミアイドゥ外務・地域統合・国際貿易大臣表敬)

